

## 様式第1号

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成27年度 第4回 所沢市行政経営推進委員会
開 催 日 時	平成28年2月23日(火) 午後6時00分から午後7時45分まで
開 催 場 所	市役所高層棟3階 301会議室
出席者の氏名	石川久、植村尚史、大島千代美、加藤且行、河上高廣、瀧澤幸子、
欠席者の氏名	中町綾子、山下恒夫
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 所沢市公共施設等総合管理計画(案)について (2) 所沢市第6次行政改革大綱(案)について (3) 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について (4) その他
会 議 資 料	○議事(1)資料「所沢市公共施設等総合管理計画(案)」 ○議事(2)資料「所沢市第6次行政改革大綱(案)」 ○議事(3)資料「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」
担 当 部 課 名	経営企画部長 桑原 茂、経営企画部次長 平田 仁、 経営企画課長 鈴木 哲也、経営企画課主幹 磯 稔、 経営企画課主幹 市川 勝也、経営企画課主幹 平栗 正之 経営企画課主査 大出 久美、経営企画課主査 河西 秀樹 経営企画課主任 蘆塚 修平、経営企画課主任 野口 藍華  経営企画部経営企画課 電話 04(2998)9027

様式第2号

審議の内容（審議経過・決定事項等）	
(1) 所沢市公共施設等総合管理計画（案）について (2) 所沢市第6次行政改革大綱（案）について (3) 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について (4) その他	
発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>事務局の進行により開会。</p> <p>本日、中町委員、山下委員は都合により欠席である。会議の公開非公開については原則公開とし、会議録の作成は要約方式、会議録は、事務局が作成した案を各委員に確認し承認いただいたのちに確定する。</p> <p>以降、石川委員長により議事を進行。</p>
委員長	(1) 所沢市公共施設等総合管理計画（案）について（公開）
事務局	所沢市公共施設等総合管理計画（案）について、資料を基に説明。
委員長	ここで、委員の方から何かご質問等があればお願いしたい。
副委員長	<p>計画の位置付けについて、複合化や集約化について検討していくと記載があるが、この計画自体は、将来どの施設をどういう風に建て直すという話で、企業であれば減価償却を積んでおけるが、市の場合は積まないで、そういった財政的な負担も含めて線を引くのがメインの計画。施設というのは下水道や道路などそれを提供すること自体が事業となるが、コミュニティセンターなど行政サービスなり施策を行うための施設・拠点というのは、施策ありきのもので、複合化といった抽象的な言葉ではなく、こういう事業をやるための拠点としてここを使いますといった話なのだと思う。</p> <p>それは、施設の管理計画では無く、政策を実行するための指針があって、そちらが検討されてそれが計画に反映されていて、ここは、次は使う用途は無いから別な用途を考えましょうとか廃止しましょうといった風に考えていくという位置づけで良いのか。</p>

事務局	<p>各施設においてはそれぞれ特性があり、委員のご意見のとおり施策が必要な施設もある。この計画は、公共施設に対する総合的な考え方を示しているもので、それぞれの施設の在り方については、個別計画の中で検討していきたい。</p>
委員長	<p>国が示している計画の中では、総合管理計画と個別施設計画がある。所沢市においては、「必要に応じて作成・見直しをする」とこの計画には書かれているが、時間的な流れについてはどのように想定されているのか。</p>
事務局	<p>必要に応じてになるが、今現在、既に中期、長期修繕計画を策定している部署もある。基本的には、関係するすべての部署で策定してもらうことが前提になるが、施設の管理台帳など情報を集めるのに時間がかかるものについては特に期限は設けてなく、出来るだけ早めに作ってほしいという形にしている。</p>
委員長	<p>総合管理計画そのものについては、いつ頃意思決定されて公表されるのか。</p>
事務局	<p>本委員会を経て年度末までに策定し公表するように考えている。</p>
委員	<p>各地をまわっている中で、廃校になっている学校がいろんな形で使われていて、かなりのへき地の所でも使える用途がある事がわかったので、積極的に進めていってほしいと考えている。</p> <p>また、建物をいつ修繕するのか診断をきちんとやらないといけないが、以前の勤務先では、職員の中で詳しい人間がそうそういるわけではないので、60歳を超えて知見がある方を専門家として登録してもらう制度を設けていた。全部業者さんに任せるのではなく、ある程度は身内にも専門家を置いて点検していく事も出来たらいいのではないかと考えている。</p>
委員	<p>以前、入札監視委員会で仕事をした時に、道路舗装と植栽の予算が一体になって付いていて、まとめて入札が執行されていた。本来、道路と植栽は、専門分野が全然違うので発注の仕方考えた方がいいと考えている。</p>
事務局	<p>道路を発注した時に、付随する植栽は合わせて執行される事はあ</p>

副委員長	<p>る。ただ、出来あがった道路の植栽を管理する際には別に委託料が設けられていて、そういった場合には、造園業者に発注している。</p> <p>施設の計画という視点で見ると、施設を統廃合しようとか跡地をどうしようという発想になるが、そうではなく市として事業を展開していこう、新しい事業を興そうとした時に、その拠点となる施設をどうするのか、今ある施設を、利用を変えて使おうとか跡地を利用しようという発想にしていけないと、施設ありきでは発想の範囲が狭くなってしまう。例えば、学校の跡地利用という話なら、教育委員会が考えましようとなると教室としてしか考えないなど教育委員会の狭い中での検討になる。市の施策として、どこでどういう展開をしていくという中に施設を位置づけでいけると本来の施設の役割が十分に発揮できないのではないかと。</p>
委員	<p>東京におもちゃ美術館があって、廃校になった学校を再利用しているが、おもちゃを集めて木育の観点から木のおもちゃをたくさん使っている所があるが、遠くからも子ども連れが訪れている。使わなくなった場所を何に使うのかということは、狭い範囲ではなく広い視野で検討して欲しいと思う。</p> <p>また、所沢の小学校では空いている教室があるが、おじいさんおばあさんとのふれあいの時間を設けたりしていて、地域の拠点として自由に足を運べる場所として空いている教室も活用して欲しい。</p>
委員長	(2) 所沢市第6次行政改革大綱(案)について
事務局	所沢市第6次行政改革大綱(案)について資料を基に説明。
副委員長	<p>市町村レベルの計画を策定する時の委員会には、市民公募委員が参加している事が多くて、そういった意見を施策に反映させているが、パブリックコメントに対する回答では、それぞれの決まりがあるのか、その決まりに応じて形式的に意見を聞いているという役所的な回答になっている。こういったものについては、公募委員を入れるとか、今後公募委員を増やしていくといった方針みたいなものは無いのか。</p>
事務局	所沢市においては、自治基本条例と市民参加を進めるための条例

副委員長	<p>があって、自治基本条例の中では、行政評価については外部の視点を入れて評価を行うように定められていて、市民の皆さまから意見をいただくこととしている。また、市民参加を進めるための条例については、審議会を設ける場合には、公募の市民を入れる事と無作為抽出を活用して、出来るだけ色々な方に参加の機会を提供するように努めることとしている。</p> <p>市民参加を進めるというのも行政改革の一環なので、せっかく市民からの意見があるのだとすれば、また市として積極的に進めていくのであれば、もっと行政改革大綱にそういった事を盛り込んでいった方がいいのではないかな。</p>
委員	<p>市に関して興味を持っている人たちへのアピール力が足りないように感じる。広報に掲載すればみんなが見てくれるというわけではなく、決まった形だけではなく色々な形でPRして行って欲しい。</p> <p>計画を策定するにあたって市民が参加する会議に呼ばれたが、結局市職員が用意した資料に基づいて了承するだけの形だけのもので、いろいろと訴える事が出来なかったという話を聞いている。もっと意味のあるものにして欲しい。</p> <p>また、こういった計画を作る際には、一般市民に見せるなら細かい話ではなくもっとわかりやすく簡単に作らないと読む事が出来ないと思う。</p>
委員	<p>数値目標の設定について、現場との議論というのが重要だと思う。具体的な目標数値は、ちょっと努力すればとどく所というレベルで設定されるが、中にはもっと厳しい目標を設定した方がいいという意見もある。その中で、現場ときちんと議論したうえで設定していく事が大切だと思う。</p> <p>また、計画の中の目標値について、4年の計画だが頑張った結果1年目に目標値に近い数字が達成出来た場合に、2年目以降さらに事業を推進していく事が出来るように、変更できるものについては柔軟に変更出来るようにした方がいいのではないかな。</p>
委員	<p>今回、当センターの職員が、初めて所沢市の有言実行発表会に参加したが、市役所の職員が本来業務以外にどんな事をやっているのかよくわかった。市民の方々にもこういった所をもっとアピールした方がいいのではないかな。</p>

委員	<p>わかりやすい情報発信という点では、県では、分厚い計画については概要版など作って理解を得られるよう工夫している。</p> <p>市民にとっては、行政の情報を知る手段がない。ホームページや広報では不十分である。本当に行政の情報を知ってもらいたいのであれば、各駅に市の情報を簡潔に知らせる事が出来るようなものを持つべきだと思う。月に1回の紙媒体では、紙を手にとらない人もいるし、市のホームページは面白くないので見ない人が多い。</p>
副委員長	<p>市民参加というものは、市政を運営するうえで仲間を作るものでもあるわけで、それまであれして欲しいこれして欲しいと思っていた人が、市政の運営に携わる中で実際問題がある事がわかって、それを市民自身でやらないといけない事がある事を理解して、市政の推進役になってくれる人たちもいる。市民参加をどう活用するのかというのは、市役所側のスタンスの問題。それをもっと積極的に入ってもらってというものがあれば、もっとPRしていった方が良く、どんなメリットがあってどういうふうに周知していったという考え方があって市民参加を行っていくべきではないか。</p>
委員	<p>市民は、私も含めてそうなのだが自己中心。自分の置かれている環境をもとに、自分はこうしたいああしたいという思いがあって、予算とかそういうことはさておき、「まずは自分の要望が」という事になるのだが、でもそういう要望が実は大事で、市民の方々がどういう思いがあってそれを実現するためにどういうスタンスを取るのか考える必要があると思う。</p> <p>また、みんなのアイデアコンテストはすごくいい取り組みなのだが、たぶん知らない人も多くて募集するといつものメンバーになってしまうのだが、興味を持っている人は、凄く面白いアイデアを練ってくる。市職員のアイデアでは限られてしまうので、市役所がやるべきことは、いろんな人の意見をたくさん聞いて、その中でいい所だけチョイスすれば良い。自己中心的な意見も多くなると思うが、それも含めてアイデアをたくさん聞く場所を本当に真剣に求めて欲しい。</p>
委員長	<p>やはり、基本は市が市民参加に対してどのような考え方を持っているかになる。この会議についても、1回の会議で論議する事項が多すぎる。そうすると、これだけやならいといけないからという雰囲気</p>

	<p>気になり、あまり聞く事が出来なくなってしまう。会議をやる上でいくつか問題があって、全体像を示したうえで、今日論議しているのはこの部分ですという、そういう会議をたくさん作って論議する。例えば、行政改革大綱であれば、きちんとそこを議論する。その全体像できちんと集約する。</p> <p>この限られた会議時間の中で、3つの議題を議論するのは無理があって、みんな消化不良になってしまうので、会議の持ち方についても工夫した方がいいと思う。</p>
委員長	(3) 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について
事務局	所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について資料を基に説明。
委員	<p>クールジャパンフォレストの複合施設について、所沢市が思い描いているプランが適切なのか判断するために、この複合施設にどのくらいの予算を予定しているのか。開設後の5年間どのくらいの集客予想をしているのか。また、周辺市町村の博物館・美術館の設立年月日・集客のデータ、上野の国立博物館の集客のデータについて次回の会議までに提示してもらいたい。</p>
事務局	<p>質問1つ目の施設建設予算については、株式会社KADOKAWAが負担し、施設建設について市は予算計上しない。市としては、周辺整備として道路環境や東川・東所沢公園を整備することで来訪者への対応を図るという考え方に基いて行う事業である。</p> <p>そのため、美術館等の集客の想定については、株式会社KADOKAWA側において、年間150万人とか200万人と想定しているが、こういった調査及び算定に基づいているかの詳細については把握していない。</p>
委員	商業経営者の応援や農商工連携を推進と書かれているが、市で全部行う事は無理だと思うので、例えば国際化ならJETROとか他の支援機関を上手に活用して連携して進めて行って欲しい。
副委員長	所沢という街をどうしていきたいというのが見えてこない。何かをするために計画を作るという事ではなく、計画を作る事が目的になっているように思える。所沢という街は、ベッドタウン。東京に

	<p>通う人が住んでいる街、そういう人が集まって大きくなってきた街であり、これから人口減少とともに東京圏が縮小していってしまう中で、これからどうしていきたいのかというのが見えてこない。</p>
<p>委員</p>	<p>同じく、所沢市は、みんなが引っ越してきて自然と大きくなった恵まれた街で、東京が無いと自立しない、東京に寄生した街である。それをはっきりと認識しないといけないが、東京一極集中が崩れた時に、財政破綻した時に「どうしていこう」というのが見えてこない。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢が、小さな動きだけど変わろうとしているのは見えてきている。今は、クールジャパンフォレストに頼りきりで、これができたら大きく街が変わるのではないかと勘違いしているところがある。この前ワークショップに参加してみて、参加者が話していたのは、所沢の魅力は、「みどり、水、そこそこ便利な所」だったが、それで、観光客を呼べるかということとそれほどの魅力があるとは思えない。例えば、狭山湖のトイレは汚くて絶対に行きたくない。そういった小さな所が整備されていなくて、来た人が気持ちよく散歩が出来なければ人も集まらないし、緑といっても地方に行けばどこでもあるので、もっと細かいところに気を配っていてもっと特徴を出していかないと所沢市の絶対的な魅力にはなっていない。</p> <p>子育てについても、各駅に子供を預けられる場所を設けるなど、他の自治体にないものをやっていかないと所沢の特徴にならない。そのくらい特徴の無い街という事を自覚しないといけない。所沢の魅力を聞かれた時には、本当に悩んでしまうし、川越を歩いてみると蔵づくりをすごく有効活用して、食べ歩きが出来て、街の人たちが街の魅力を宣伝しようとしている。変わろうとしているのは感じるが、もっと特徴を出していかないと、他の街には勝てないと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>市職員だけで状況が突破出来るわけではなくて、全国にはいろんな先例があってこまめに見ていけばいろんな解決の方法とかがある。観光地のトイレの問題については、静岡県伊東市は各ポイントに非常にきれいなトイレがあって、しかも外観を綺麗にして人を呼び込む努力をしているが、それでも観光客が伸びていない。どんなに努力しても今の世の中は、全体が縮まっていく傾向にあるので、その辺は勉強してやっていく必要があると思う。</p>

<p>委員</p>	<p>戦略の中には、全国住みやすさランキングというのがあるが、ランキングはいくつかに分かれているので、重点ポイントを絞って力を入れて順位を上げていく形でもいいのではないかと。</p> <p>山口県下松市（くだまつし）のように、そのための組織を作って責任を背負って進める事としている例もある。何か目標を決めて力を入れていく時には、きちんとした組織体制を作る事も大切だと思う。</p> <p>また、産業用地の事が書かれているが、東京に依存しないで所沢市に産業を興していく、という事だと思うが、これが一番努力を要する難しいところであって、どんな産業をどんな風に育てるのか、考え実行していくことは大変だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>行政に関わる立場から見ると、所沢の戦略はバランス良く出来ていると思う。自分の住んでいる市の戦略では目玉プロジェクトが無い。クールジャパンフォレストのようなプロジェクトを見て、これから所沢市が進もうとしている目標への意思表示は出来ているように思う。他の委員が指摘した「所沢市が進もうとしている所が見えない」というようには受け止めていない。これから、これをいかにPRしていくか、いかに事業実現していくかの方が重要だと思っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>街に対する想いというのと期待というのが両方あると思う。期待が高ければ高いほど現状に対する不満も出てくるし、ああして欲しいこうして欲しいという要望も出てくる。</p> <p>今いろんな委員から出てきた意見については、おそらくこの街を何とかしないとという気持ちの表れだと思う。せっかく作った計画をどのように活かしていくか、今の委員からの指摘をどのように加えていくか、戦略というのは大胆且つ緻密なものである。ぜひ、そのような視点で活かして欲しいと思う。</p> <p>（４）その他 特になし</p> <p>議事終了。</p>